



令和4年度和歌山県立古佐田丘中学校スクールプラン

和歌山県がめざす
教育分野における将来像

「未来を拓くひとを育む和歌山」

保護者・地域の願い

- 確かな学力
- 主体的な学び
- 礼儀正しさや規範意識の向上
- 学校・保護者・地域の連携

【学校教育目標】

心身ともにたくましく、豊かな心と確かな学力を持ち、広い視野に立って社会の変化に主体的に対処できる生徒を育成する。

【めざす生徒像】

- ・心身ともに健康でたくましく、発信力のある生徒
- ・豊かな心と確かな学力を身に付けた生徒
- ・自己の生き方を考え、自ら学び、未来を切り拓いていこうとする意欲を持ち、地域や学校に誇りを持つ生徒
- ・多様な価値を認め、新しい価値を創造する生徒

前年度の学校評価

- 生徒たちは、自分の能力や努力が適切・公平に認められていると感じながら学校生活を送っている。
- 保護者からは、家庭や地域社会との連携、授業・行事の公開を求める声がある。

生徒の実態

- 生徒達は他人を思いやり・生命や人権を大切にする意識を持ち、挨拶やマナーなどを身につけており、清掃などの奉仕活動にも意欲的に取り組んでいる。一方、家庭学習・読書週間は定着しておらず、学力の定着について不安を持つ生徒たちが1割程度いる。

重点目標

学びに向かう力と確かな学力の定着

ユネスコスクールとして社会に貢献する有為な人材の育成と地域連携

人間関係構築能力とキャリア形成能力の育成

授業改善の促進と授業環境の整備

具体的な取組

- 相互学習を取り入れた主体的で深い学びの実践。
- 探究的な学習活動や、課題に対してチームで取り組む学習を充実させる。
- 手帳の活用や面談指導・授業内での指導で、PDCAサイクルを取り入れた学習習慣の確立をめざす。
- ICT・図書館を活用した授業実践。

- 地域人材を活用した「ふるさと学習」で地域の良さや課題を知る。
- HP等を活用し、家庭や地域に情報発信をすることで連携を深める。
- 体験活動をとおり地域の方々と交流するなかで規範意識や道徳性をさらに身につけ実践力を向上させる。
- 道徳教育の充実とソーシャルスキル学習の実践。

- 日々の学校生活や職業体験活動や大学キャンパス訪問、校外学習等をとおして、学校での学びが社会生活、職業生活、将来の夢にどうつながっていくかを体験的に学習させる。
- 生徒が主体的に取り組む学級活動や生徒会活動、学校行事を充実させ、自己肯定感を高める機会をもつ。

- ユニバーサルデザイン、インクルーシブ、ICT活用、カリキュラムマネジメント等の各視点に基づく授業改善に取り組む。
- 授業改善のため、上記の視点を実践した研究授業等に取り組む。
- 双方向型ICT活用の研究

指標

・学校評価の「しっかりと学力がついてきている」「家庭学習習慣がついている」「読書の習慣がついている」に対する肯定的回答が昨年度を上回る。

・学校評価の「学校は、家庭や地域社会とよく連携している」「社会の一員としての基本が定着している」に対する肯定的な回答が昨年度を上回る。

・学校評価の「進路や職業、生き方について考える機会がある」、「生徒会活動は盛んである」に対する肯定的な回答が昨年度を上回る。

・学校評価の「工夫してわかりやすく充実した授業を行っている」「教室や校内の雰囲気など、学ぶ環境づくりができてい」に対する肯定的な回答が昨年度を上回る。

◎：特に重点的に取り組むこと